

# 学位論文審査の要旨

学位申請者	大須賀 隆子 2016年3月単位修得退学		論文題目	宮武辰夫の幼児美術教育方法論
審査委員	主 査:	浜口 順子 教授	インターネット公表	学位論文の全文公表の可否 : 否
	副 査:	小玉 亮子 教授		「否」の場合の理由
	副 査:	刑部 育子 准教授		<input type="checkbox"/> ア. 当該論文に立体形状による表現を含む
	審査委員:	富士原紀絵 准教授		<input type="checkbox"/> イ. 著作権や個人情報に係る制約がある
	審査委員:	岩壁 茂 教授		<input checked="" type="checkbox"/> ウ. 出版刊行されている、もしくは予定されている
学位名称	博士 (学術)			<input type="checkbox"/> エ. 学術ジャーナルへ掲載されている、もしくは予定されている
(英語名)	(Ph. D. in Education)			<input type="checkbox"/> オ. 特許の申請がある、もしくは予定されている
学力の確認	修士課程入学の際に語学と専門に関する学力は確認されている。			※本学学位規則に基づく学位論文全文のインターネット公表について

## 学位論文審査・内容の要旨

**【論文内容の要旨】**本論は、宮武辰夫(1892-1960)の幼児美術教育方法論について考察するものである。戦前は原始芸術探検家として、戦後は幼児美術教育実践家として活躍した宮武は、1950年代に〈生きもの〉の土台である身体を基底とした〈全身のスクリブル〉という教育方法を創案し、幼児・学童期の美術教育改革に功績を残した。第1章:宮武の最晩年の作品巨大遊具「シャトレー」と彼の著書から、戦前と戦後を貫く美術教育思想の基本に〈生きもの〉思想があることを明らかにした。第2章:宮武の幼児美術教育方法論の背景にあるルース・ショウのフィンガー・ペインティング論、グレッツィンゲルのスクリブル論、ケインのスクリブル運動論について検討を行った。第3章:宮武の幼児美術教育方法論の開発過程と事例を検討し、その方法論がニイディング(こねくり)を重んじスクリブル(ぬたくり)に展開させる〈全身のスクリブル〉として結実したことを明らかにしている。第4章:1950年代後半の創造美育論争期に制作された『児童画評価シリーズ1』において、宮武が指導した子どもの絵画が、評者たちから子どもの感覚や感情が生き生きと表現されている点で共通に評価されていることが明らかとなった。以上から、宮武の方法論が、幼児美術教育を幼児の生活と遊びに結びつけた点、生得的な創造性を〈生きもの〉ととらえた点、精神分析的視点を導入して子どもの内面を体全体で表現する教育方法を確立した点において独創性があったことが明らかにされた。また、この論文が『児童画評価シリーズ1』という資料を考察の対象としたことは重要であり、先行研究において十分評価されてこなかった宮武の幼児美術教育方法論の特質を〈生きもの〉という鍵概念を用いて新たな視角から論じたことの意義は大きい。

**【審査の過程】** 2020年5月中旬に審査委員会が設置され、5月25日に第1回審査委員会が開かれた(ZOOMシステムによるオンライン)。大筋においてほぼ完成していたが、さらにいくつかの点についてより詳細な検討をするよう指導、指摘がなされた。たとえば表題中に「方法」は必要かどうか再検討する必要性(「教育論」でもよいのではないか)、終章において表現が不鮮明で未整理な部分が残っていること、精神分析論に関する用語の整理の必要性、宮武の太平洋戦争や儒教思想との関係に関する記述の不明瞭さなどである。これらの指摘部分を検討し修正した論稿が7月上旬に各審査委員に再提出された。各審査委員はデータ上で修正部分に関する最終確認を行い公開発表に進むことを承認した。公開発表会参加予定者には希望に応じて発表時の補助資料であるパワーポイントのデータを事前に送付した。7月21日(火)17時~18時30分、オンラインにて公開発表会が催された。5名の指導教員と学位申請者本人以外13名の来場があり、45分間のパワポによる論文概要の報告後、数人から質問やコメントを受けた。質問内容は、ショウ、グレッツィンゲル、ケインと宮武の美術教育論の共通点と違いの整理について、〈生きもの〉概念はいつから使用され現代美術教育にどのような影響を残しているのか、宮武辰夫の知名度、宮武を研究対象とした理由、宮武が当時の現職教育にどの程度貢献していたか、宮武の理論と前衛芸術論との関係等について質問があり、適切な応答がなされた。発表会後に審査委員会による最終審査・試験があり、本論文が、博士(学術)、Ph. D. in Educationにふさわしいと判断され、合格とした。